

# かみかわ発電所リプレースだより

VOL.4  
2024.3

ほくてん

北海道電力株式会社 上川発電所リプレース工事建設所 〒078-1752 上川郡上川町川端町 13 番地 2

## 3月5日 定礎式を執り行いました

2024年3月5日、上川発電所リプレース工事の「定礎式」を執り行いました。

当日は、ほくてん社内外より34名様のご参列をいただきました。厳粛な雰囲気の中、「定礎の儀」などの神事を執り行い、堅固な発電所の完成を祈願いたしました。

また、「玉串奉奠」では、上川町役場より佐藤芳治町長、上川町議会より安部逸雄議長、上川町商工会より鎌田康雄会長にもご参拝いただきました。



玉串奉奠を行う 佐藤町長



玉串奉奠を行う 安部議長



玉串奉奠を行う 鎌田会長

定礎の儀では、まず「礎石（定礎石）」を神輿で担ぎ、発電所建設地の最も深い位置となる埋納場所まで運搬し「礎石を埋納」します。その後の「埋納の儀」と「打固の儀」は、当社関係者から執行役員土木部長の松村と上川発電所リプレース工事建設所長の湯浅が、工事関係者から西松建設株式会社札幌支店の菅原支店長と西松・荒井共同企業体北電上川出張所の梅田所長の4名が執り行いました。

コンクリートをスコップですくい埋納場所の四隅に投入（埋納の儀）し、木槌で埋納場所の四隅の打ち固めを行いました（打固の儀）。

定礎式の最後には主催者を代表して、上川発電所リプレース工事建設所長の湯浅から、

『本日、このような形で定礎式を迎えることができたのは、西松建設、荒井建設で構成する共同企業体の一方ならぬご尽力のお蔭。また、私共が常々本当にありがたく思っていることは、夏は連日30℃を超える猛暑の中、そして冬においては氷点下20℃を下回るような大変に厳しい気象環境の中、現場の第一線を支えている西松・荒井共同企業体の協力会社（山崎建設・丸建基礎工事・日特建設・成建鋼業）の方々のご苦勞である。建設所員一同は、施工会社の皆さまと心を合わせて、つつがなく工事を完遂すべく、努力してまいる所存』と挨拶いたしました。



打固の儀を行う 当社・工事関係者



主催者挨拶する 湯浅建設所長



# リプレース工事 レポート

リプレース工事  
進捗状況  
**7.5%**  
(2024年2月末現在)

上川発電所リプレース工事の状況をご紹介します！

2023年7月から本格的に開始したリプレース工事は、2024年2月に深さ約20mにも及ぶ発電所基礎の掘削を完了しました（下図の**緑色範囲**）。おもて面でご紹介したとおり、3月5日には定礎式を終え、翌日の3月6日には発電所基礎のコンクリート躯体（くたい）の構築を開始しています。

現在の発電所は、2024年3月18日をもって営業運転を終え、発電所の一部取り壊しを進めていきます。また、より上流側へ掘削範囲を広げる工事を並行して進めていきます（下図の**赤色範囲**）。

上川発電所の工事現場では引き続き工事を進めておりますので、ご興味がある方は、ぜひ現場見学にいらしてください（下記の連絡先まで お問い合わせください）。

## ■現場見学のお問い合わせ先■

ほくでん上川発電所リプレース工事建設所 土木課  
TEL (0166) 31-6274

## <豆知識>

新しい上川発電所は「地下20m+地上10m」の「合計約30m」の高さを有する土木建築構造物です。この高さは、上川町のシンボルとなっている「エスポワールの鐘」とほぼ同じ高さ（地上からの高さ）になります。現場の第一線を支える協力会社さんは、毎日何往復も「エスポワールの鐘」の上っていると考えると、大変さが想像できます。



←現在の発電所です  
(2024年3月18日に営業運転を終えます)

←発電所基礎の躯体構築箇所です  
(左に写っている足場内で作業中です)

出典：上川町HP

工事状況写真（図中**緑色**が「2023年度掘削範囲」、図中**赤色**が「2024年度掘削範囲」）